

* 無断利用・複写厳禁

作成者: 福原裕二(島根県立大学)

竹島／独島関係 史・資料目録(著作) — 第1版

通し 番号	著・訳・編者	題名	史・資料名	出版者	出版・発 行年	出版・発 行月	頁	分類	備考
1	矢富巖夫	浜田藩 竹島事件	御家騒動ー古 田騒動・鏡山事 件・竹島事件・ 隠岐騒動ー(歴 史読本スペシャ ル1989.2特別増 刊)	新人物往 来社	1989		pp.312- 315	日本語著作	
2		山陰からの朝鮮国 漂着	島根県の地名 (日本歴史地名 大系第33巻)	平凡社	1995		p.38	日本語著作	
3		伯耆国米子の竹島 一件	島根県の地名 (日本歴史地名 大系第33巻)	平凡社	1995		pp.38- 39	日本語著作	
4		石見国浜田藩の竹 島事件	島根県の地名 (日本歴史地名 大系第33巻)	平凡社	1995		p.39	日本語著作	
5		島根県の成立と行 政変遷	島根県の地名 (日本歴史地名 大系第33巻)	平凡社	1995		pp.42- 43	日本語著作	
6		松原浦	島根県の地名 (日本歴史地名 大系第33巻)	平凡社	1995		pp.686- 687	日本語著作	
7		竹島	島根県の地名 (日本歴史地名 大系第33巻)	平凡社	1995		p.844	日本語著作	

8	保存版 まるごと一冊「領土戦争」-「拡がる中国」「縮む日」	別冊SAPIO	小学館	2005	7月		日本語著作
9	秋岡武次郎	第5編 日本地図作成上の若干の事項 第5節 「松島と竹島との混淆」	日本地図史	河出書房	1955	pp.175-181	日本語著作
10	足立栗園		朝鮮新地誌	積善館	1911	4月	日本語著作
11	安部直文	コラム 日本の領土	よくわかる世界の紛争大図解	汐文社	2003	pp.44-45	日本語著作
12	池内敏		近世日本と朝鮮漂流民	臨川書店	1998		日本語著作
13	泉昌彦		領海なき海・竹島＝独島秘史	泉昌彦	1978		日本語著作
14	井上清		尖閣列島	現代評論	1972		日本語著作
15	伊藤哲雄	領土紛争と国家管轄権－国際裁判における「黙示の同意」と北方領土問題	山本草二先生古希記念 国家管轄権－国際法と国内法	勁草書房	1998	pp.315-339	日本語著作
16	入江啓四郎	第1章 日本の領土問題 「3竹島の領有問題」	領土・基地	三一書房	1959	pp.20-24	日本語著作
17	上地龍典		尖閣列島と竹島－中国・韓国との領土問題(入門新書:時事問題解説NO.95)	教育社	1978		日本語著作
18	NHK島根放送	竹島とアシカ漁	島根の暦	報光社	1965	p.171	日本語著作
19	NHK松江放送局編	竹島事件物語(山根俊久)	ふるさと百話	報光社	1970	pp.272-279	日本語著作
20	大熊良一		竹島史稿－竹島(独島)と鬱陵島の文献学的考察	原書房	1968		日本語著作

21	大西俊輝		日本海と竹島－ 日韓領土問題	東洋出版	2003			日本語著作
22	大平善悟		アジア外交と日 韓関係－対韓 論議を斬る	有信堂	1965			日本語著作 「李ラインと竹 島の問題点」 pp.89- 103
23	隠岐島編		隠岐島記(島根 県郷土誌総刊)	臨川書店	1987	11月		日本語著作
24	隠岐歴史民族 研究会	竹島(上)(下)	隠岐の国散歩	隠岐観光 協会	1998		pp.49- 50	日本語著作
25	奥原福市(碧 雲)		竹島及鬱陵島	報光社	1907			日本語著作
26	奥原碧雲	十二、竹島沿革考	島根叢書 第2 篇	島根教育 会	1933		pp.136- 159	日本語著作
27	奥原碧雲		竹島及鬱陵島	ハーベスト 出版	2005			日本語著作 『竹島及鬱陵島』(1907年刊)の 復刻
28	鹿嶋海馬		アジア国境紛争 地図	三一書房	1997			日本語著作
29	金子利喜男		世界の領土・境 界紛争と国際裁 判－外交交渉と 司法的解決の 併用を目指して	明石書店	2001			日本語著作
30	川上健三		竹島の領有	外務省条 約局	1963	8月		日本語著作
31	川上健三		竹島の歴史地 理学的研究	古今書院	1966			日本語著作

32	川上健三		竹島に関する韓 国側主張と事実 不明 関係	不明	1989			日本語著作	
33	川上健三		竹島の歴史地 理学的研究(復 刻新装版)	古今書院	1996			日本語著作	
34	川崎孝子	日本の領土(第4章)	日本と国際法の 100年 第2巻 陸・空・宇宙(国 際法学会編)	三省堂	2001	pp.95- 126		日本語著作	
35	川本秀一		独島の歴史的 法的研究	愛知大学 朝鮮文化 研究会	1960			日本語著作	
36	北島正元	竹島事件	幕藩制の苦悶	中央公論 社	1966	pp.216- 219		日本語著作	
37	金学俊著・ホサ カユウジ訳		独島／竹島 韓 国の論理	韓 論創社	2004			日本語著作	
38	金三奎	第3章 今日の朝鮮 「3.日韓両国間の問 題」	今日の朝鮮	河出書房	1956	pp.126- 131		日本語著作	
39	栗林忠男	第8章 国家領域と 国際化地域 4 日 本の領土問題「竹	現代国際法	慶應義塾 大学出版 会	1999	pp.237- 240		日本語著作	
40	現代史研究所 編	条約上の問題	日韓条約の見 方—条約上の 問題点	東京現代 史研究所	1965	pp.21- 22		日本語著作	
41	国際法事例研 究会		領土(日本の国 際法事例研究 3)	慶応通信	1965			日本語著作	
42	小林高壽	古今二つの竹島問 題—離島の地理へ の一つの試み—	人生地理学メモ ラーズ	雑艸苑書 房	1974	8月 pp.32- 45		日本語著作	初出は『高校教育』1968年3-6月 号

43	坂元茂樹	明治三十八年の光と影ー日本における条約法の軌跡(第7章)	日本と国際法の100年 第1巻 紛争の解決(国際法学会編)	三省堂	2001	pp.182-206	日本語著作
44	桜井光堂		古代日本の領土ー領土確定と記紀解読の実証的研究	公論社	1975		日本語著作
45	佐藤勝巳・寺尾五郎	第4章 漁業問題とは思想問題である。竹島問題も思想問題である	日本の漁業と日韓条約	日本朝鮮研究所	1965	pp.77-79	日本語著作
46	佐藤正人		国民国家日本の独島占領ー第7次国際教科書学術会議総合報告書 世界化時代の歴史学教科書	国際教科書研究所	1996		日本語著作
47	山陰中央新報社	恐怖の機雷と李ライン	新聞に見る山陰の世相百年	山陰中央新報社	1983	pp.490-492	日本語著作
48	島田征夫	第8章 国家領域先占「竹島」	国際法〔第3版〕(法律学講義シリーズ)	弘文堂	2002	pp.152-155	日本語著作
49	島根教育会	第一章地文	島根県誌	日本佛書センター	1979	pp.1-3,pp.34-35	日本語著作
50	島根教育会	第5章竹島	島根県誌	日本佛書センター	1979	pp.690-692	日本語著作
51	島根教育会	島根県地図	島根県誌	日本佛書センター	1979		日本語著作
52	島根県	朝鮮竹島渡海始末記 全	新修島根県史ー史料篇 3 近世下	報光社	1965	pp.328-335	日本語著作
53	島根県		竹島の概要	島根県	1965		日本語著作

54	島根県史料編 纂掛編纂(島根 県学務部)	島根県史九藩 時代下、明治維 新时期		1975		日本語著作	
55	島根県・島根県 竹島問題解決 促進協議会	竹島		1977		日本語著作	パンフレット
56	島根県・島根県 竹島問題解決 促進協議会	かえれ島と海 竹島		1987		日本語著作	パンフレット
57	島根県・島根県 竹島問題解決 促進協議会	竹島 かえれ島 と海		1998		日本語著作	パンフレット
58	島根県私立教 育会編	10竹島探検 実業補習読本 (甲種巻三)	同文館	1918	pp.45- 50	日本語著作	
59	島根県総務部 広報文書課	竹島関係誌料 第1巻	島根県総 務部広報 文書課	1953		日本語著作	『竹島資料Ⅲ①～④』に同じ
60	島根県総務部 広報文書課	竹島関係誌料 第2巻	島根県総 務部広報 文書課	1953		日本語著作	『竹島資料Ⅶ』に同じ
61	島根県総務部 広報文書課(田 村清三郎)	竹島の研究	島根県総 務部広報 文書課	1954		日本語著作	
62	下条正男	日韓歴史克服 への道	展転社	1999		日本語著作	
63	下条正男ほか	知っています か、日本の島	自由国民 社	2002		日本語著作	
64	下条正男	竹島は日韓ど ちらのものか(文 春新書377)	文藝春秋 社	2004		日本語著作	
65	下条正男	「竹島」その歴 史と領土問題	竹島・北方 領土返還 要求運動 島根県民	2005		日本語著作	
66	下条正男	竹島・独島問題とは 何か マンガ 嫌韓流	晋遊舎	2005	pp.261- 267	日本語著作	

67	新光社編	鬱陵島	日本地理風俗 大系(第17巻朝 鮮地方下)	新光社	1930		pp.40- 47	日本語著作
68	慎鏞廈著・韓誠 訳		史的解明 独島 (トクト)(竹島) 日本と国際法の	インター出 版	1997			日本語著作
69	杉原高嶺	国際司法裁判所の 役割と展望(第5章)	100年 第9巻 紛争の解決	三省堂	2001		pp.103- 128	日本語著作
70	政治経済新改 革連合同人 編	第四部「『竹島』は我 が国固有の領土」	安全保障と領土	政治経済 改革連合 会	2000		pp.415- 493	日本語著作
71	芹田健太郎	竹島問題	イミダス1997年 版(コラム欄)		1997			日本語著作
72	芹田健太郎		島の領有と経済 水域の境界画 定	有信堂高 文社	1999			日本語著作
73	芹田健太郎		日本の領土 資料提供 隠岐 島後文化財保 護審議会委員 藤田茂正	中公叢書	2002			日本語著作
74		『(資料)平成6年度 島前島後社会教育 担当者会 竹島』			1994			日本語著作
75	秋月望・丹羽泉 編著	「韓国の領土問題・ 領有意識—竹島/ 独島と『間島』—」	『韓国百科(第 二版)』	大修館書 店	2002		pp.267- 272	日本語著作
76	足立栗園	『朝鮮新地誌』		積善館	1911	4月		日本語著作
77	安部直文	「コラム 日本の領 土」	『よくわかる世界 の紛争大図解 —領土をめぐる 争い(第1巻)』	汐文社	2003		pp.44- 45	日本語著作
78	安部勝編	第四章「竹島」	『五箇村誌』	島根県隠 岐郡五箇 村役場	1989		pp.254- 260	日本語著作
79	池内敏	『近世日本と朝鮮漂 流民』		臨川書店	1998			日本語著作
80	泉昌彦	『領海なき島・竹島 —独島秘史』		泉昌彦	1978			日本語著作

81	井上清	『尖閣列島』 「領土紛争と国家管轄権—国際裁判における『黙示の同意』と北方領土問題」	『山本草二先生古希記念 国家管轄権—国際法と国内法—』	現代評論	1972		日本語著作	
82	伊藤哲雄			勁草書房	1998	pp.315-339	日本語著作	(第7章)村瀬信也・奥脇直也編集代表
83	今村鞆	「鬱陵島紀事」	『歴史民俗朝鮮漫談』	京城南山吟社	1928	pp.149-159	日本語著作	
84	入江啓四郎	第1章 日本の領土問題「3竹島の領有問題」	『領土・基地』	三一書房	1959	pp.20-24	日本語著作	
85	上地龍典	『尖閣列島と竹島—中国・韓国との領土問題』		教育社	1978		日本語著作	(入門新書:時事問題解説NO.95)
86	臼杵知史	「日本の領土問題」	杉原高嶺他著『現代国際法講義』	有斐閣	1992	pp.103-108	日本語著作	
87	NHK島根放送局	『島根の暦』	「竹島とアシカ漁」	報光社	1965	p.171	日本語著作	
88	山根俊久	「竹島事件物語」	『ふるさと百話』	報光社	1970	pp.272-279	日本語著作	NHK松江放送局編
89	大熊良一	『竹島史稿—竹島(独島)と鬱陵島の文献学的考察』		原書房	1968		日本語著作	
90	大西俊輝	『日本海と竹島—日韓領土問題』		東洋出版	2003		日本語著作	
91	大平善悟	「李ラインと竹島の問題点」	『アジア外交と日韓関係—対韓論議を斬る—』	有信堂	1965	pp.89-103	日本語著作	
92	隠岐支庁編	第一章 位置及び地勢 第三編「竹島」	『隠岐島誌(全)』	名著出版	1972	pp.245-264	日本語著作	
93	隠岐島編	『隠岐島記』	島根県郷土誌総刊	臨川書店	1987	11月10日	日本語著作	
94	隠岐歴史民族研究会	『隠岐の国散歩』	竹島(上)(下)	隠岐観光協会	1998	pp.49-50	日本語著作	

95	奥原福市(碧雲)	『竹島及鬱陵島』	報光社	1907			日本語著作	
96	奥原碧雲	「十二、竹島沿革考」	『島根叢書 第2篇』 島根県教育会	1933		pp.136-159	日本語著作	
97	奥原碧雲	『竹島及鬱陵島』	ハーベスト出版	2005			日本語著作	上記『竹島及鬱陵島』の復刻
98	小倉進平	(上巻)前篇 資料編「石」	『朝鮮語方言の研究』 岩波書店	1944		pp.218-219	日本語著作	
99	小田滋	「李承晩ラインの違法性(一九五三年)」	『海洋法の源流を探る—海洋の国際法構造(増補)—』 有信堂	1989	1月	pp.107-126	日本語著作	
100	鹿嶋海馬	『アジア国境紛争地図』	三一書房	1997			日本語著作	
101	金子利喜男	『世界の領土・境界紛争と国際裁判—外交交渉と司法的解決の併用を目指して』	明石書店	2001			日本語著作	
102	川上健三	『竹島の領有』	外務省条約局	1963	8月		日本語著作	
103	川上健三	『竹島の歴史地理学的研究』	古今書院	1966			日本語著作	
104	川上健三	『竹島に関する韓国側主張と事実関係』	発行所不明	1989			日本語著作	
105	川上健三	『竹島の歴史地理学的研究』	(復刻新装版)古今書院	1996			日本語著作	
106	川崎孝子	「日本の領土」(第4章)	『日本と国際法の100年 第2巻 陸・空・宇宙』 三省堂	2001		pp.95-126	日本語著作	国際法学会編

107	川本秀一	『独島の歴史的法的 研究』		愛知大学 朝鮮文化 研究会	1960			日本語著作	
108	北島正元	「竹島事件」	『幕藩制の苦 悶』	(日本の歴 史18)中央 公論社 (解説編) 昭和礼文	1966	pp.216- 219		日本語著作	
109	木下良ほか	『皇国総海岸図』			1988			日本語著作	(地図と奥書のみ)
110	木村汎、渡辺 昭夫	「国境・領土問題と 現代(第2章)」	『現代日本の国 際政策—ポスト 冷戦の国際秩 序を求めて』	有斐閣選 書	1997	pp.39- 60、 pp.55- 56		日本語著作	4その他の領土問題「竹島問題 —現状と問題点」
111	金学俊著・ホサ カユウジ訳	『独島／竹島 韓国 の論理』		論創社	2004			日本語著作	
112	金三奎		『今日の朝鮮』	河出書房	1956	pp.126- 131		日本語著作	第3章 今日の朝鮮 3. 日韓両 国間の問題
113	金容権編著	「竹島問題[独島問 題]」	『早わかり韓国 を知る事典:暮 らしから歴史ま で原泉500キー ワード』	東海教育 研究所	2002	p.70		日本語著作	
114	栗林忠男	第8章 国家領域と 国際化地域 4 日本 の領土問題「竹島」	『現代国際法』	慶應義塾 大学出版 会	1999	pp.237- 240		日本語著作	
115	現代史研究所 編	「条約上の問題点」	『日韓条約の見 方—条約上の 問題点』	東京現代 史研究所	1965	pp.21- 22		日本語著作	
116	国際法事例研 究会	『領土』		(日本の国 際法事例 研究3)慶 応通信	1990			日本語著作	
117	小林高壽	「古今二つの竹島問 題—離島の地理へ の—の試み—1、 2、3」	『人生地理学メ モラーズ』	雑艸苑書 房	1974	8月	pp.32- 45	日本語著作	初出は『高校教育』1968年3-6 月号

118	坂元茂樹、国際法学会編	「明治三十八年の光と影—日本における条約法研究の軌跡」	『日本と国際法の100年 第1巻 紛争の解決』	三省堂	2001	pp.182-206	日本語著作	(第7章)
119	桜井光堂	『古代日本の領土—領土確定と記紀解読の実証的研究』		公論社	1975		日本語著作	
120	佐藤勝巳・寺尾五郎	『日本の漁業と日韓条約』		日本朝鮮研究所	1965	pp.77-79	日本語著作	第4章「漁業問題とは思想問題である。竹島問題も思想問題である」
121	佐藤正人	『国民国家日本の独島占領—第7次国際歴史教科書学術会議総合報告書 世界化時代の歴史学教科書』		国際教科書研究所	1996		日本語著作	
122	山陰中央新報社編	「恐怖の機雷と李ライン」	『新聞に見る山陰の世相百年』	山陰中央新報社	1983	pp.490-492	日本語著作	
123	島田征夫	第8章 国家領域2 先占「竹島」	『国際法〔第3版〕』	(法律学講義シリーズ) 弘文堂	2002	pp.152-155	日本語著作	
124	島根教育会	「第一章地文」、「第五章竹島」、「島根県地図」	『島根県誌』	日本佛書センター	1979	pp.1-3、pp.34-35、pp.690-692	日本語著作	
125	島根県	「朝鮮竹島渡航始末記 全」	『新修島根県史—史料篇 3 近世下』	報光社	1965	pp.328-335	日本語著作	
126	島根県	『竹島の概要』			1965		日本語著作	
127	島根県学務部 島根県史編纂掛編纂	第九篇 藩政時代下「イ、竹島事件」	『島根県史 九 藩政時代下 明治維新时期』	島根県	1930	pp.728-733	日本語著作	

128	島根県高等学校地歴・公民科教育研究会編	9. 島根の農林水産業(5)竹島と漁業水域	『PICK OUT 島根2001』	島根県高等学校地歴・公民科教育研究 島根県高等学校地歴・公民科教育研究	2001	p.20	日本語著作	
129	島根県高等学校地歴・公民科教育研究会編	9. 島根の農林水産業(5)竹島と漁業水域	『PICK OUT 島根2002』	島根県高等学校地歴・公民科教育研究 島根県高等学校地歴・公民科教育研究	2002	p.20	日本語著作	
130	島根県高等学校地歴・公民科教育研究会編	9. 島根の農林水産業(5)竹島と漁業水域	『PICK OUT 島根2004』	島根県高等学校地歴・公民科教育研究 島根県高等学校地歴・公民科教育研究	2004	p.20	日本語著作	
131	島根県高等学校地歴・公民科教育研究会編	9. 島根の農林水産業(5)竹島と漁業水域	『PICK OUT 島根2005』	島根県高等学校地歴・公民科教育研究	2005	p.20	日本語著作	
132	島根県・島根県竹島問題解決促進協議会	『竹島』			1977		日本語著作	(パンフレット)
133	島根県・島根県竹島問題解決促進協議会	『かえれ島と海 竹島』			1987		日本語著作	(パンフレット)
134	島根県・島根県竹島問題解決促進協議会	『竹島 かえれ島と海』			1998		日本語著作	(パンフレット)
135	島根県私立教育会編	「10竹島探検」	『実業補習読本』	(甲種巻三)同文館	1918	pp.45-50	日本語著作	
136	島根県総務部広報文書課編	『竹島関係誌料』第1巻		島根県総務部広報文書課	1953		日本語著作	『竹島資料Ⅲ①～④』に同じ)
137	島根県総務部広報文書課編	『竹島関係誌料』第2巻		島根県総務部広報文書課	1953		日本語著作	『竹島資料Ⅶ』に同じ)
138	島根県総務部広報文書課編(田村清三郎)	『竹島の研究』		島根県総務部広報文書課	1954		日本語著作	

139	島根県／竹島・ 北方領土返還 要求運動島根 県本部	『竹島 かえれ 島と 海』	島根県／ 竹島・北方 領土返還 要求運動 島根県本 部	2006	2月22日		日本語著作	(パンフレット)
140	島根県編	第九編 藩政時代下 「イ、竹島事件」	『島根県史 藩政 時代下 明治維 新期』(第八卷)	名著出版	1972	pp.728- 733	日本語著作	
141	下条正男	『日韓・歴史克服へ の道』	展転社	1999			日本語著作	
142	下条正男ほか	『知っていますか、 日本の島』	自由国民 社	2002			日本語著作	
143	下条正男	『竹島は日韓どちら のものか』(文春新 書377)	文藝春秋 社	2004			日本語著作	
144	下条正男	『「竹島」その歴史と 領土問題』	竹島・北方 領土返還 要求運動 島根県民	2005		p.172	日本語著作	
145	下条正男	「竹島・独島問題と は何か」	『マンガ 嫌韓 流』	晋遊舎	2005	pp.261- 267	日本語著作	
146	新光社編	「鬱陵島」	『日本地理風俗 体系』(第17巻 朝鮮地方下)	新光社	1930	pp.40- 47	日本語著作	
147	慎鏞廈著・韓誠 訳	『史的解明 独島(ト クト)(竹島)』	インター出 版	1997			日本語著作	
148	杉原高嶺、国 際法学会編	「国際私法裁判所の 役割と展望」(第5 章)	『日本と国際法 の100年 第9巻 紛争の解決』	三省堂	2001	pp.103- 128	日本語著作	
149	政治経済新改 革連合同人 編	第四部『「竹島」は我 が国固有の領土』	『安全保障と領 土』	政治経済 新改革連 合会	2000	pp.415- 493	日本語著作	
150	芹田健太郎	『島の領有と経済水 域の境界画定』	有信堂高 文社	1999			日本語著作	
151	芹田健太郎	『日本の領土』	中公叢書	2002			日本語著作	

152	太寿堂鼎	『領土帰属の国際法』(現代国際法叢書)	東信堂	1998		日本語著作		
153	千寛宇(監修・文章)、金龍煥(監修・イラスト)、金容権(翻訳代表)	「安龍福、日本を叱る」	『《図説総合韓国史》絵で見る韓国の歴史』(第7巻李朝2)	エムティ出版	1993	pp.92-97	日本語著作	
154	高井晋、粕屋進編	「竹島の帰属問題」	『現代の法律問題—時の法を探る—(改訂版)』	法学書院	1987		日本語著作	広大図書館(中央館書庫3B:320.4/G-34)
155	高野雄一	『日本の領土』		東京大学出版会	1962		日本語著作	
156	田川孝三	(竹島問題研究資料)『竹島渡海禁制と松島』			1953	11月	日本語著作	附:中村栄孝「江戸幕府の竹島・松島渡航認可及び竹島渡航禁止、朝鮮の空島政策に関する論考」
157	田川孝三	『文献に明記された韓国領土の東極』(竹島問題研究資料)			1953	11月	日本語著作	
158	田川孝三	『朝鮮政府の鬱陵島管轄について』(竹島問題研究資料)			1953	11月	日本語著作	

159	田川孝三	『「于山島」について』(竹島問題研究資料)		1953	11月		日本語著作
160	田久保忠衛	『日本の領土—そもそも国家とは何か』	PHP研究所	1999			日本語著作
161	田中阿歌磨	『隠岐国の竹島に関する地理学上の諸問題』		1905			日本語著作
162	田中豊治	『隠岐島の歴史地理学的研究』	古今書院	1979			日本語著作
163	田淵友彦	第三編 処誌 第五章「江原道」	『韓国新地理』 東京博文館	1905		pp.303-308	日本語著作
164	田村壽	『日本竹島燦鑛調査報告書』		1954	5月		日本語著作
165	田村清三郎	『竹島資料Ⅰ』					日本語著作 (①『大谷九右衛門竹島渡海由来記抜書控』、②『竹島渡海由来記抜書控』、③『米子村川大谷両家竹島渡海書上写』、④『因州鳥取藩主池田家文書』、⑤『因府歴年略史(抄)』、⑥『因藩野史(抄)』、⑦『伯耆志(抄)』、⑧『伯耆民談・伯耆民談記(抄)』、⑨『秘書朝鮮新話(抄)』)
166	田村清三郎	『竹島資料Ⅱ』					日本語著作 『竹島に関する七箇条返答書』

167	田村清三郎	『竹島資料Ⅲ』	日本語著作	①『長生竹島記』、②大谷九右衛門『竹島渡海由来記抜書控』、③大谷九右衛門・村井市兵衛『竹島に関する七箇条返答書』、④『朝鮮竹島渡航始末記』
168	田村清三郎	『竹島資料Ⅳ』	日本語著作	『秘書朝鮮新話』
169	田村清三郎	『竹島資料Ⅴ』	日本語著作	『因州鳥取藩池田家文書 竹島之書附三通』
170	田村清三郎	『竹島資料Ⅵ』	日本語著作	『徳川実記その他 阿部四郎五郎一族抜書』
171	田村清三郎	『竹島資料Ⅶ』	日本語著作	①『山陰新聞記事写(明治27年1月～明治39年6月)』、②『隠岐支庁「竹島」「竹島一件」書類写』 ③『願書並指令 明治38年起 竹島漁獵会社』、④『行政諸官庁往復雑書類 明治38年起 竹島漁獵会社』、⑤『明治38年度計算書 竹島漁獵会社』、⑥『竹島漁獵合資会社営業成績略38 竹島漁獵会社』、⑦『明治39年度計算書 竹島漁獵会社』、⑧『明治44生產品勘定書 竹島漁獵会社』
172	田村清三郎	『竹島資料Ⅷ』	日本語著作	①島根県(田村清三郎)『島根県竹島の研究』、②外務省条約局(川上健三)『竹島の領有』
173	田村清三郎	『竹島資料Ⅸ』	日本語著作	田村のり子氏所蔵

174 田村清三郎	『竹島資料Ⅹ』	日本語著作	①田川孝三『(竹島問題研究資料)竹島渡海禁制と松島』、②外務省アジア局第五課『(竹島問題研究資料)三峯島について』、③外務省アジア局第五課『(竹島問題研究資料)于山島と鬱陵島名について』、④外務省アジア局第五課『因藩野史(抄)』、⑤外務省アジア局第五課『因伯記要(抄)』、⑥田川孝三『文献に明記された韓国領土の東極』、⑦田川孝三『朝鮮政府の鬱陵島管轄について』、⑧田川孝三『「于山島」について』、⑨中村拓『地図に現われた「竹島」について』
175 田村清三郎	『竹島資料ⅩⅠ』	日本語著作	田村清三郎編『竹島年表(1587～1954)』
176 田村清三郎	『竹島資料ⅩⅡ』	日本語著作	『竹島領有権に関する韓国政府の見解—第一次—[一九五三・九・九](日本政府一九五三・七・一三付抗議に対する反駁書)』

177	田村清三郎	『竹島資料XⅢ』			日本語著作	①皆川洸『竹島紛争と国際判例』、②太寿堂鼎『竹島紛争』、③森田芳夫『竹島領有をめぐる日韓両国の歴史上の見解』[同三編]、④島根県『竹島の概要』、⑤島根県『竹島の領土権確保に関する県民運動推進要綱(案)』、⑥衆議院外務委員会調査室『日本国と大韓民国との間の条約及び協定等に関する特別委員会審議要綱』、⑦『竹島展計画 山陰歴史館第二回展示』
178	田村清三郎	『竹島資料XⅣ』			日本語著作	『第五十国会衆議院日韓条約特別委員会議録』
179	田村清三郎	『竹島資料XⅤ』			日本語著作	『田村清三郎氏竹島関係書簡』
180	田村清三郎	『竹島資料XⅥ』			日本語著作	『竹島漁獵合資会社関係資料(複本)』
181	田村清三郎編	『竹島年表(1587～1954)』			日本語著作	
182	田村清三郎	『竹島問題の研究』(演習資料)	島根県総務部広報文書課	1955	日本語著作	
183	田村清三郎	『島根県竹島の新研究』	(松江)田村清三郎	1965	日本語著作	
184	田村清三郎	『島根県竹島の新研究』	島根県総務部総務	1996	日本語著作	復刻版
185	田村徳子	『則鳴:田村清三郎遺稿集』	田村徳子	1969	日本語著作	
186	田村のり子	『連作詩 竹島』	山陰詩人クラブ刊	1997	日本語著作	

- 187 朝鮮史編修会編 『朝鮮史』 朝鮮総督府 1935-38 日本語著作
 第5編第6卷「癸酉 朝鮮肅宗十九年十月～十二月」pp.96-99、第5編第6卷「甲戌 朝鮮肅宗二十年二月」pp.102-103、第5編第6卷「甲戌 朝鮮肅宗二十年八月」pp.142-145、第5編第6卷「乙亥 朝鮮肅宗廿一年四月」pp.170-171、第5編第6卷「乙亥 朝鮮肅宗廿一年六月」pp.176-183、第5編第6卷「丙子 朝鮮肅宗廿二年九月～十月」pp.224-227、第5編第6卷「丁丑 朝鮮肅宗廿三年二月～三月」pp.238-241、第5編第10卷「甲寅 朝鮮正祖十八年六月」pp.800-801、第6編第4卷「辛巳 朝鮮李太王十八年五月」pp.570-571、第6編第4卷「壬午 朝鮮李太王十九年六月」pp.621-628、第6編第4卷「壬午 朝鮮李太王十九年八月」pp.650-651、第6編第4卷「甲申 朝鮮李太王廿一年正月」pp.706-707、第6編第4卷「甲申 朝鮮李太王廿一年三月」pp.710-711、第6編第4卷「甲申 朝鮮李太王一年卅月」pp.1040-1041
- 188 塚本孝編(調べ) 『竹島資料(田村のり子女史所蔵「竹島資料」総目次)』1980年 日本語著作
- 189 筒井真樹子編 訳、尹学準監修 『間島と独島』 『韓国の教科書の中の日本と日本人』 一光社 1989年 pp.155-156 日本語著作

190	寺尾五郎	「竹島問題とは」	『アジアの平和と日韓条約』	日本朝鮮研究所	1965	pp.59-60	日本語著作	
191	東京韓国院	『竹島(独島)文献目録』		東京韓国院	1977		日本語著作	
192	戸田敬義	『竹島渡海之願の竹島之図』			発行年未詳		日本語著作	
193	鳥取県編	第五編 近世史、藩政時代に於ける因伯の状況 第四節 「竹島事件」	『鳥取県郷土史』	鳥取県	1932	pp.425-466	日本語著作	
194	鳥取県編	「竹島渡海禁止并渡海沿革」	『鳥取藩史』(第六卷)	鳥取県立博物館	1971	pp.466-477	日本語著作	
195	鳥取県編	『鳥取県史 7 近世資料』		鳥取県	1976	pp.82-83、154-155、170-171、186-189、594-597	日本語著作	因府年表の一部
196	内閣官房内閣調査室	第3部 第2章 第1節 「7. 竹島(独島)問題」	『日韓条約締結をめぐる内外の動向』		1966年	pp.180-181	日本語著作	
197	内藤正中	『竹島(鬱陵島)をめぐる日朝関係史』		多賀出版	2000		日本語著作	
198	中澤孝之／日暮高則／下条正男	『図解 島国ニッポンの領土問題—激怒する隣国、無関心な日本』		東洋経済新報社	2005		日本語著作	

199	永海一正	『近世隠岐島史の研究』	報光社	1972			日本語著作
200	中村拓	『地図に現われた「竹島」について』 (竹島問題研究資料)		1953	11月		日本語著作
201	中村栄孝	第5 交隣関係の更新「4. 対馬の交隣管掌 竹島(鬱陵島) 帰属の交渉」	『日本と朝鮮』 (日本歴史新書)	至文堂	1966	pp.241-245	日本語著作
202	中村栄孝	「七 竹島と鬱陵島—竹島の帰属問題によせて—」	『日鮮関係史の研究(下)』	吉川弘文館	1969	pp.445-464	日本語著作
203	中村三愛	『竹島を譲った男』	新人物往来社	1978			日本語著作
204	西尾忠良編著	「噂で消滅・朝鮮海峡海戦」	『事件を追って—戦後島根の軌跡(第2集)』	松江写真植字社出版部	1978	pp.16-17	日本語著作
205	西尾忠良編著	「爆死した韓国漁夫20数名」	『事件を追って—戦後島根の軌跡(第3集)』		1978	pp.44-52	日本語著作
206	日韓漁業協議会	『日韓漁業対策運動史』					日本語著作
207	日本共産党	第3部 竹島について	『日本共産党と領土問題』	新日本出版社	1979	pp.256-268	日本語著作
208	日本旅行協会編	『旅行と費用概算』		同会刊	1938	12月	日本語著作
209	速水保孝編	『竹島漁業の変遷』		外務省アジア局第二	1953		日本語著作

朝鮮の四極と面積の中で、慶北鬱陵島と竹島を記載

210	朴垠鳳著、石坂浩一監訳、清水由希子訳	「鬱陵島と独島を守った安龍福(第2章 朝鮮社会の素顔と変貌)」	『わかりやすい朝鮮社会の歴史』	明石書店	1999	pp.118-137	日本語著作	
211	朴庚来	『独島』(研究資料)		高山義弘	1963		日本語著作	
212	朴九秉	「アメリカ捕鯨船の日本海来漁と竹島発見—航海日誌にみる日本海捕鯨」	『歴史と民俗』(神奈川県日本常民文化研究会論集11)	平凡社	1994	pp.101-138、254	日本語著作	
213	朴炳涉、姜徳相先生古希・退職記念論文集刊行委員会	「日本の竹島＝独島放棄と領土編入」	『日朝関係史論集』	新幹社	2003	pp.137-159	日本語著作	姜徳相先生古希・退職記念
214	原貴美恵	「『朝鮮』処理—朝鮮半島問題と竹島」	『サンフランシスコ平和条約の盲点』(第1章)	溪水社	2005	pp.29-80	日本語著作	
215	福田東作	『韓・日合併記念史』		同記念事業会	1911		日本語著作	第1地理誌編江原道条に独島の位置言及
216	藤田二郎	『環日本海潮流文化ふしぎな歴史探索』			1998		日本語著作	
217	藤田亮策	『朝鮮学論考』		藤田先生記念事業	1963		日本語著作	
218	藤本充安	第6章「竹島の獲物」	『島根県史要』	島根県私立教育会	1907	pp.433-434	日本語著作	
219	別冊宝島編集部編	『ニッポン人なら読んでおきたい 竹島・尖閣諸島の本』		宝島社	2005	11月	日本語著作	
220	伯耆文化研究会・山陰歴史館運営委員構想	『竹島展計画 山陰歴史館第二回展示』			1953		日本語著作	

221	牧野愛博	『尖閣・竹島・北方四島：領土問題テキストブック』	朝日新聞社総合研究センター調査研究社内報告：	1998			日本語著作	
222	松井芳郎他編	第Ⅲ部 国家領域4 『国際法〔第4版〕』（有斐閣Sシリーズ） 日本の領土問題「b竹島」	有斐閣	2002		pp.118-121	日本語著作	
223	真崎光晴	第3部 その他の問題点「1. 竹島問題」	『日韓交渉—その経緯と問題』 日本国際問題研究	1962		pp.61-63	日本語著作	
224	水上千之	第2章第4節 漁業水域「韓国および中国との関係」第3章第4節 大陸棚 東シナ海における大陸棚問題「二 日韓大陸棚問題」	『日本と海洋法』 有信堂	1995	12月	pp.99-103、 pp.119-142	日本語著作	
225	皆川洸	「竹島紛争と国際判例」	『国際法学の諸問題』	1963			日本語著作	(前原光雄教授還暦記念)慶応通信
226	宮森健次・文／ 木幡智恵美・絵	『ある小さな小さな島の物語』	ふたば出版	1995			日本語著作	
227	森須和男著・浜田市教育委員会編	『八右衛門とその時代：今津屋八右衛門の竹嶋一件と近世海運』（石見学ブックレット／3）	浜田市教育委員会	2002			日本語著作	
228	安岡昭男	『明治維新と領土問題』（教育歴史新書 日本史144）	教育社	1980			日本語著作	
229	柳本見一	「竹島」「密航者つづく」「隠岐堆と神藤堆の発見」	『激動二十年』 毎日新聞西部本社	1965		pp.72-77、 pp.77-82、 pp.160-	日本語著作	

230	山下政夫	「松島変じて『竹島』」	『円い水平線—旅と口碑と民謡の隠岐—』	創元社	1962	pp.151-157	日本語著作
231	山田吉彦	『日本の国境』		新潮新書	2005		日本語著作
232	山野車輪	「日本領侵略—竹島問題:互いに領有権を争う日本と韓国それぞれの主張(第9話)」	『マンガ 嫌韓流』	晋遊舎	2005	pp.241-260	日本語著作
233	吉田敬市	第三章「明治以前に於ける法人の鮮海出漁とその性格」第三節「鬱陵島(竹島)に於ける日鮮漁業問題」	『朝鮮水産開発史』	朝水会	1954	pp.93-106	日本語著作
234	吉田武三	「他計甚麼(竹島)雑誌」	『松浦武四郎紀行集(中)』	富書房	1975	pp.511-531	日本語著作
235	領土返還国民協議会同人編	『日本の領土:北方四島・竹島・尖閣列島の諸問題』		領土返還国民協議会	1996		日本語著作
236	大沼保昭	「第10章第3節 国際司法裁判所(ICJ)」	『資料で読み解く国際法 下』	東信堂	2002	pp.26-29	日本語著作 〈参考〉
237	小田滋	「第10章 争訟事件」	『国際司法裁判所』	日本評論社	1987	pp.169-206	日本語著作 〈参考〉
238	東寿太郎、波多野里望・筒井若水編著	「マンキエ・エクレオ諸島事件」	『国際判例研究 領土・国境紛争』	東京大学出版会	1979	pp.309-325	日本語著作 〈参考〉

239	東寿太郎波多 野里望・松田幹 夫編著	「マンキエ・エクレオ 諸島事件」(第9節)	『国際司法裁判 所一判決と意見 第一卷(一九四 八—六三年)』	国際書院	1999	2月	pp.150- 160	日本語著作 〈参考〉
240	安岡昭男	『幕末維新の領土と 外交』		清文堂出 版	2002			日本語著作 〈参考〉
241	牧田幸人、国 際法学会編	「国際裁判と日本」	『日本と国際法 の100年 第9卷 紛争の解決』 (第10章)	三省堂	2001		pp.243- 269	日本語著作
242		第一編 道史篇 第 二章 江原道沿革 「鬱陵島沿革」	『江原道誌』(上 卷)	発行所不 明	1959		p.24	韓国語著作
243		『独島から来た手紙 (釜山創設記念大企 画作 独島詞華集)』		글쑤出版 社	2005			韓国語著作
244		『独島通信—作家60 人独島訪問記』		한뜻출판 사	1996			韓国語著作
245	姜錫午	『概観韓国地理』		豊川文化 社	1957			韓国語著作
246	강영오	『韓日仮想独島海戦 (海洋戦略で解く)』		연경문화 사	2000			韓国語著作
247	강은교	『私の愛する独島』		文学世界 社	2005			韓国語著作
248	慶北大学校	『鬱陵島・独島踏査 紀要』		慶北大学 校出版部	1977			韓国語著作

249	慶尚北道教育庁	『独島を知っていますか』	慶尚北道教育庁	1996		韓国語著作
250	고계영지음	『我々の末の島 独島(上) 独島守備隊 洪淳七隊長』	時代文学	1997		韓国語著作
251	고계영지음	『我々の末の島 独島(下) 東海を守った安龍福将』	時代文学	1997		韓国語著作
252	高銀	『(詩集)独島』		1995		韓国語著作
253	国家発展戦略研究会	『高句麗史歪曲対策 討論会』		2004	8月18日	韓国語著作
254	国防大学院	『独島領有権に関する考察』	国防大学院	1996		韓国語著作
255	国会	「독도사랑모임」	『独島領有権政策討論会』	2002	4月26日	韓国語著作
256	국회독도사랑모임	『2002年独島年鑑』	국회독도사랑모임	2002	12月	韓国語著作
257	국회독도지킴이연구회	『独島問題の新たな局面と領土紛争の基礎的条件に対する反省』		2000	10月16日	韓国語著作
258	国会海洋フォーラム・(社)韓国海洋環境安全協会	『韓日・韓中漁業協定の比較と我々の当面の課題(海洋フォーラム政策シンポジウム)』		2001	6月20日	韓国語著作
259	그리미	『独島は我が地』	자유과모	2004		韓国語著作
260	金徳柱	『東海表記の歴史的・国際法的論理』	外交安保研究院	1999	3月	韓国語著作
261	金建中	『新編大韓地理』	普成館	1907		韓国語著作

262	김관중	『独島 = 김관중 写真集 = Tok Do: photographed by Kim Gwoan-Joong』	独島守護隊	2000		韓国語著作
263	金教植	『(ドキュメンタリー) 独島守備隊』	鮮文出版社	1979		韓国語著作
264	金教植	『あー、独島守備隊』	JJBOX	2005		韓国語著作
265	金東祚	『回想30年韓日会談』	中央日報社	1986		韓国語著作
266	김래주	『김래주 長編小説①』	いつも青い松	2005		韓国語著作
267	金明基	『独島と国際法』	華学社	1987		韓国語著作
268	金明基、光復50周年記念事業委員会・韓国學術振興財団	「韓日間領土紛争(独島): 独島の領有権に関する日本政府主張に対する法的批判」	『日帝植民地政策研究論文集』 韓国學術振興財団	1995	pp.275-298	韓国語著作
269	金明基	『独島研究』	法律出版社	1997		韓国語著作
270	金明基	『独島義勇守備隊と国際法』	図書出版ダムル	1998		韓国語著作
271	金明基	『独島の領有権と国際法』	투어웨이	1999		韓国語著作
272	金明基編	『独島特殊研究(大韓民国の領土研究論叢3)』	法書出版社	2001		韓国語著作
273	金柄烈	『独島か竹島か』	타담메디	1996		韓国語著作

274	金柄烈	『独島を守る人々』	(사계절 童文庫37)	1999		韓国語著作
275	金柄烈	『独島論争』	사계절 타담메디	2001		韓国語著作
276	金柄烈	『独島に対する日本 の人々の主張』	타담메디 아	2001		韓国語著作
277	김석록	『独島とバレーボー ル—김석록小説集』	깊은샘	2005		韓国語著作
278	金宣杓·洪性杰	『暫定協定の法的性 格と中間水域運用 問題研究』	韓国海洋 水産開発 院	1999	12月	韓国語著作
279	김선표·홍성 걸·이형기	『韓·日間東海排他 的經濟水域境界画 定において独島の 基点使用に対する 研究』	韓国海洋 水産開発 院	2000	12月	韓国語著作
280	김설／文·신지 석／繪	『独島は我々の島』	学山文化 社	2005		韓国語著作
281	金栄球	『韓国と海の国際 法』	韓国海洋 戰略研究	1999		韓国語著作
282	金栄球	『新版 韓国と海の 国際法』	21世紀ブッ クス	2004		韓国語著作
283	金栄球	『QUO VADIS、 DOKDO? 独島;どこ へ行くのか』	다솜出版 社	2005		韓国語著作
284	金玉烈	『韓国と美·日関係 論』	一潮閣	1973		韓国語著作

285	金溶植	『希望と挑戦:金溶植外交回顧録』	東亜日報社	1987	韓国語著作
286	김용우	『独島の領有権に関する問題』	国会図書館立法分	1996	韓国語著作
287	김우규編	『東海の番人独島』	時代文化	1996	韓国語著作
288	金元湜	『日本の主張に反証する独島論文集(独島問題の実相)』	南郷文化社	1967	韓国語著作
289	김탁환編	『独島評伝』	ヒューマニスト	2001	韓国語著作
290	金学俊	『独島は我々の地』	図書出版ハンチュル	1996	韓国語著作
291	金学俊	『独島は我々の地』	ヘマჯ지	2003	韓国語著作
292	金和弘	『独島は韓国の島(独島固守と間島、対馬領有権主張)』	図書出版シモン文化社	1996	韓国語著作
293	金和弘	『歴史的実証で見る独島は韓国の島』	図書出版シモン文化社	1996	韓国語著作
294	金和弘	『独島は韓国の地』	人間と自然社	2005	韓国語著作
295	内藤正中	『独島と竹島』	JNC	2005	韓国語著作
296	나홍주	『日本の「独島」領有権主張と国際法上の不当性』	금관	1996	韓国語著作

297	羅洪柱	『独島の領有権に関する国際法的研究：独島は日本の隣接小島で“Smaller adjacent islands”ではない』	法書出版社	2000		韓国語著作
298	盧啓鉉	『朝鮮の領土(増補)』	韓国放送通信大学校出版部	1997		第10章、pp.274-294 韓国語著作
299	廬明濬、光復 50周年記念事業委員会・韓国 學術振興財団	「韓・日間の漁業協定」 『日帝植民地政策研究論文集』	韓国學術振興財団	1995		pp.355-387 韓国語著作
300	노호성	『독섬 1』	띠앗	2004		韓国語著作
301	노호성	『독섬 2』	띠앗	2004		韓国語著作
302	노호성	『독섬 3』	띠앗	2004		韓国語著作
303	大邱嶺南日報 社編	独島問題に関する駐日代表部発表全 『独島』	『韓国年鑑1955年版』 大邱嶺南日報社	1955	p.59-63	韓国語著作
304	大韓公論社編	『独島』	大韓公論	1965		韓国語著作
305	独島問題研究所編	『2000年独島年鑑』	국회독도사랑모임	2000	12月	韓国語著作
306	独島博物館	『独島を囲む海に対する韓・日間の視角(独島博物館第1回 學術発表会)』		2000	5月31日	韓国語著作
307	독도사랑모임 (国会議員研究 団体)	『独島問題の政治・ 經濟的考察と守護 戰略(政策研究報告 書)』		2000	12月	韓国語著作
308	独島守護隊(月 刊말編集)	『あー、独島』	独島守護隊	2000		韓国語著作

309	独島学会	『独島の領有と独島政策』	(独島学会創立記念学術シンポジウム)	独島学会	1996	4月18日	韓国語著作
310	独立記念館韓国独立運動史研究所・独島学会	『独島領有問題と民族意識』	(光復51周年記念及び独立記念館開館9周年記念第10回独立運動史学術シンポジウム)	独立記念館韓国独立運動史研究所・独島学会	1996		韓国語著作
311	独島学会	『独島領有の歴史と国際関係(独島学会第3回学術シンポジウム)』		独島学会	1997	5月23日	韓国語著作
312	独島学会	『独島領有権問題と海洋主権の再検討(独島学会国際学術シンポジウム)』		独島学会	1998	4月3日	韓国語著作
313	独島学会	『独島領有権大討論会(独島研究保全協会大討論会)』		独島学会	1999	10月22日	韓国語著作
314	独島学会	『独島領有権と韓・日漁業協定改定の方角(独島領有権学術シンポジウム)』		独島学会	2001	9月20日	韓国語著作

315	独島学会編	『独島領有権研究論集』	独島研究 保全協会	2002		韓国語著作
316	独島学会編	『韓国の独島領有権研究史』	独島研究 保全協会	2003		韓国語著作
317	独島歴史探訪 運動本部編	『独島は韓国の地なのか？』	白山書堂	2003		韓国語著作
318	独島歴史探訪 運動本部編	『独島領有権危機研究』	白山書堂	2003		韓国語著作
319	独島研究保全 協会	『独島領有権の歴史と国際関係』	独島研究 保全協会	1997		韓国語著作
320	独島研究保全 協会	『Korea's Territorial Rights to Tokdo : A Historical Study』 (独島研究叢書②)	独島研究 保全協会	1997		韓国語著作
321	独島研究保全 協会	『独島領有権と領海の海洋主権』(独島研究叢書③)	独島研究 保全協会	1998		韓国語著作
322	独島研究保全 協会	『独島領有権と新韓日漁業協定の再検討』	独島研究 保全協会	1998	10月21日	韓国語著作
323	独島研究保全 協会	『独島隣接海域の環境と水資源保全のための基礎研究』	独島研究 保全協会	1998		韓国語著作
324	独島研究保全 協会	『独島研究保全活動1996-2004』	独島研究 保全協会	2004		韓国語著作

325	大韓国際法学会	『独島の領有権に関する総合的研究—独島問題に対する国際法的考察—(1982年度研究結果報告書)』	大韓国際法学会	1982		韓国語著作
326	大韓国際法学会・歴史学会共編	『独島領有権に対する歴史的・国際法的接近』	大韓国際法学会	1999		韓国語著作
327	大韓地理学会	『「東海」地名に対する地理学セミナー』	大韓地理学会	1992	11月27日	韓国語著作
328	大韓地理学会	『主題:独島の地政学(独島問題対策のための討論会)』	大韓地理学会	2005	4月14日	韓国語著作
329	東方文学会編	『私の心の中の独島』	図書出版社 신세림	2005		韓国語著作
330	東海研究会	『「東海」地名に関する学術セミナー論文発表(1994.11.9)』	東海研究会	1994	11月	韓国語著作
331	東海研究会	『「東海」地名に関する学術セミナー論文発表(1995.5.24)』	東海研究会	1995	5月	韓国語著作
332	東海研究会	『学術発表大会発表論集1996.11』	東海研究会	1996	11月	韓国語著作

333	東海研究会	『「東海」地名標準化のための国際セミナー論文発表(1997.6.11)』	東海研究会	1997	6月	韓国語著作	セッション I ~ III別綴
334	東海研究会	『学術発表会1997.11.4』	東海研究会	1997	11月	韓国語著作	
335	東海研究会	『'99東海研究会学術発表及び定期総会』	東海研究会	1999	6月4日	韓国語著作	
336	東海研究会	『第5回「東海」地名と海の名 称に対する国際学術セミナー』	東海研究会	1999	10月26/ 27日	韓国語著作	
337	류시권	『独島の秘密』	한숨미디어	2004		韓国語著作	
338	문철영	『CDで聞く独島の話』	키ョン세우온	2004		韓国語著作	
339	民族文化研究所編	『鬱陵島・独島 東海内住民の生活構造とその変遷発展』	嶺南大学校出版部	2003		韓国語著作	
340	民族文化研究所編	『鬱陵島・独島 東海内住民の生存戦略と適応』	嶺南大学校出版部	2003		韓国語著作	
341	박기태	『サイバー外交官、バンク—韓国を変化させるチカラ!—』	한언	2004		韓国語著作	
342	朴庚来	『独島의 史・法的인 研究』	日曜新聞社	1965		118p 韓国語著作	
343	박인식 / 글·김정명 / 사진	『独島』	大元社	1996		韓国語著作	
344	박정선	『独島は語る』	世宗出版	2001		韓国語著作	
345	박창희	『先生が聞かせてくれる我々の地独島の話』	図書出版夢と希望	2005		韓国語著作	
346	方東仁	『韓国の国境確定研究』	一潮閣	1997		韓国語著作	

347	배진수	『世界の島嶼紛争と独島シナリオ』	韓国軍事問題研究院	1997			韓国語著作
348	백봉흠	『独島と排他的經濟水域』	경세원	2003			韓国語著作
349	四月会・独島学会	『独島領有權と韓・日漁業協定(四月会・独島学会共同シンポジウム)』	四月会・独島学会	2002	3月20日		韓国語著作
350	西大邱JC編	『独島が韓国を蘇生する』	白山書堂	2004			韓国語著作
351	송명호	『뚝딴지 독도 수비대』	대교出版	1996			韓国語著作
352	孫承철	『近世朝鮮の韓日關係研究』	国学資料院	1999			韓国語著作
353	宋炳基	「朝鮮後期高宗朝の鬱陵島搜討の開拓」	『崔泳熹先生華甲紀念韓國史學論叢』	1987		pp.399-430	韓国語著作
354	宋炳基	「朝鮮初期地理史の于山・鬱陵〔武陵〕島記事検討」	『朝鮮時代史研究』(龍巖車文燮博士華甲紀念論叢)	1989	12月	pp.365-383	韓国語著作
355	宋炳基、尹炳爽教授還曆記念韓國近代史論叢刊行委員會編	「日本の‘リャンコ島(独島)’領土編入と鬱島郡守沈興澤報告書」	『尹炳爽教授回甲紀念韓國近代史論叢』	1990		pp.47-70	韓国語著作
356	宋炳基	『鬱陵島と独島』	檀国大学校出版部	1999			韓国語著作

357	시어도아 F. 쿡 주니어, 스티 븐 엠브로스 著, 로버트카 올리訳, 이종 인編	『独島は日本の島、 ハワイも日本の島』	『もしかしたら— 世界の軍事歴 史家が代替の 歴史を想像する I 軍事歴史編』	世宗研究 院	1996		韓国語著作
358	申東旭	『独島に関する研		発行所不	1965	4月30日	韓国語著作
359	申東旭、芝陽 申基碩博士還 曆紀念學術論 文集編纂委員 会編	『独島と国際裁判』	『芝陽申基碩博 士回甲紀念学 術論文集』	三和印刷 株式会社	1968		韓国語著作
360	慎鏞廈	『独島、貴重な韓国 領土:日本の独島領 有権主張に対する 総批判』		知識産業 社	1996		韓国語著作
361	慎鏞廈	『独島の民族領土史 研究』		知識産業 社	1996		韓国語著作
362	慎鏞廈	『独島の民族領土史 研究』		知識産業 社	1997		韓国語著作 第二版
363	慎鏞廈	『独島領有権に対す る日本の主張批判』		ソウル大学 校出版部	2001		韓国語著作
364	慎鏞廈	『韓国と日本の独島 領有権論争』		漢陽大学 校出版部	2003		韓国語著作
365	慎鏞廈	『慎鏞廈の独島の 話』		(知識叢書 139)살림 出版社	2004		韓国語著作
366	안상교	『独島無窮花』		函書出版 韓民族	1997		韓国語著作
367	安龍福將軍紀 念事業會編	『安龍福將軍 附:鬱 陵島・独島の来歴』		安龍福將 軍紀念事	1967		韓国語著作

368	安龍福將軍紀念事業會編	『増補 安龍福將軍附:鬱陵島・独島の略史』	安龍福將軍紀念事業會	1996		韓国語著作
369	安龍福將軍紀念事業會	『守疆祠志—鬱陵島独島を守ることが安龍福將軍の祠堂—』	安龍福將軍紀念事業會	2004		韓国語著作
370	양영훈	『鬱陵島・独島』	NEXUS BOOKS	2005		韓国語著作
371	梁泰鎮	『韓国の国境研究』	同和出版社	1981		韓国語著作
372	梁泰鎮	『韓国辺境史研究』	法経出版	1989		韓国語著作
373	梁泰鎮	『創刊号 領土愛』	土門会	1993		韓国語著作
374	梁泰鎮	『わが国の領土の話』	(大陸叢書11)大陸研究所出版	1994		韓国語著作
375	梁泰鎮	「独島論」	『韓国の領土管理政策に関する研究』	1996	pp.100-188	韓国語著作
376	梁泰鎮	『近世韓国境域論考』	景仁文化社	1999		韓国語著作
377	梁泰鎮	『独島(韓国独立の象徴)』	白山出版社	2004		韓国語著作
378	嶺南大民族文化研究所編	『前近代東海内地域社会の運用と様相』	影仁文化社	2005		韓国語著作
379	嶺南大民族文化研究所編	『鬱陵島・東海内漁村地域の生活文化研究』	影仁文化社	2005		韓国語著作
380	大西俊輝著、権五曄・権静訳	『独島』	JNC	2004		韓国語著作
381	玉永秀・鄭甲龍・柳廷坤	『新韓日漁業協定発効に伴う国内漁業対策』	韓国海洋水産開発院	1998	12月	韓国語著作
382	外交安保研究院編	『韓国の領土:独島』	外交安保研究院	1990		韓国語著作

383	우리누리／文・ 이순표／絵	『美しい独島と我々の島』	オリニ中央	2005			韓国語著作
384	陸軍本部	『独島問題と韓日関係』	(時事教材)陸軍本	1977			韓国語著作
385	鬱陵郡公報室	『鬱陵島郷土誌』	鬱陵郡	1963			韓国語著作
386	이광호	『独島に太極旗が翻り』	키덕키덕	2004			韓国語著作
387	李薰	『朝鮮後期漂流民と韓日関係』	国学資料院	2000			韓国語著作
388	李度晟	『実録 朴正熙と韓日会談』	図書出版寒松	1995			韓国語著作
389	李度珩	『黒幕:韓日交渉秘話』	朝鮮日報社	1987			韓国語著作
390	李東元	『大統領を慕いつつ』	高麗院	1992			韓国語著作
391	李丙燾	「于山竹島名称考」	『暁城趙明基博士華甲記念仏教史学論叢』	1965	5月	pp.279-284	韓国語著作
392	李丙燾	「附3.『于山』『竹島』名称考」	『韓国古代史研究』	1976		pp.796-803	韓国語著作
393	李相泰	『韓国古地図発達史』	博英社 (母岳実学会叢書第9輯)図書出版	1999			韓国語著作
394	이석우	『独島紛争の国際法的理解』	학영사	2004			韓国語著作
395	이석우	『独島紛争の国際法的理解(普及版)』	학영사	2005			韓国語著作
396	이수광	『独島は日本の地』	中央M&B	2003			韓国語著作

397	이수동	『独島を守れく外界13号)の独島侵攻』	홍진M&B	2004	韓国語著作
398	이영택	『코드네ーム 独島1—이영택戦争小説』	롱그세 ラー	2001	韓国語著作
399	이영택	『코드네ーム 独島2—이영택戦争小説』	롱그세 ラー	2001	韓国語著作
400	이예균·김성호	『独島—日本は死んでも分からない独島の話88』	예나루	2005	韓国語著作
401	이용우	『鬼神狩獵—独島奪還作戦 이용우長編小説1-2』	행림출판	2004	韓国語著作
402	이주홍/지음· 강우근/그림	『(海のライオン)安龍福』	우리교육	2001	韓国語著作
403	李鎮明	『独島、地理上の再発見』	図書出版 サミン	1998	韓国語著作
404	李鎮明	『西洋資料から見た独島』	民俗分析 会	1998	韓国語著作
405	李鎮明	『独島、地理上の再発見(改訂増補版)』	図書出版 サミン	2005	韓国語著作
406	李平編	『独島が日本の地だってさ(下)』	図書出版 경원메디	2000	韓国語著作
407	李漢基	「法律的論叢と政治的論叢との區別 独島は裁判に付託されるべきか」 『芝陽申基碩博士回甲紀念學術論文集』		1968	韓国語著作

408	李漢基	第2章「独島」	『韓国の領土』	ソウル大学 校出版部	1969	pp.227- 308	韓国語著作
409	インターネット 文学新聞独島 を愛する協議 会編	『靈魂まで独島に散 骨し』	『ポエムトピア』		2003		韓国語著作
410	林英正、玄岩 申国柱博士華 甲紀念韓國学 論叢刊行委員	「朝鮮初期鬱陵島と 独島の経営」	『玄岩申国柱博 士華甲紀念韓 國学論叢』	東国大学 校出版部	1985	pp.147- 172	韓国語著作
411	林英正	「独島の呼称に關す る諸説の検討」	『環東海圈の時 間と空間の交感 —牧志吳洪哲 博士華甲紀念 論文集 I 祝賀 論文篇』	牧志吳洪 哲博士華 甲紀念論 文集刊行 委員會	1995	pp.149- 171	韓国語著作
412	林英正	「日本の独島呼称の 変化とその性格」	『竹堂李炫熙教 授華甲紀念韓 國史学論叢』	竹堂李炫 熙教授華 甲紀念論 叢刊行委	1997	pp.627- 638	韓国語著作
413	임채청외	『間島から対馬まで (韓・中・露・日領土 問題現状)』		東亜日報 社	2005		韓国語著作
414	自然保護中央 協議会	『鬱陵島及び独島自 然実態総合学術報 告書』		自然保護 中央協議 会	1996		韓国語著作
415	張錫蓋	『果濟日録(1899.7.3 ~1901.8.29間の日 記)』					韓国語著作
416	전지은／文・김 재일／絵	『我々の島独島』		桂林	2005		韓国語著作
417	정갑용ほか	『独島領有權に關す る國際法的争点研 究』		韓国海洋 水産開発 院	2004		韓国語著作

418	정광태	『정광태의 독도는 우리 땅』	ヨンジンド 트콤	2005		韓国語著作
419	鄭一永・朴椿浩 共編	『韓日關係國際法問 題—兩国学者共同 研究』	百想財團	1998		韓国語著作
420	鄭長善(農林海 洋水産委員会 新千年民主党)	『国連海洋法と東北 アジアの新海洋秩 序(第215回定期国 会国政監査政策資 料集3)』		2000	10月	韓国語著作
421	정찬원	『在日韓国人と日本 人の認識差異—日 本の外国人行政を 中心に—』	在外同胞 財團	2004		韓国語著作
422	정해왕	『我々の島独島の 話』	図書出版ク ルナル	1996		韓国語著作
423	조은재	『竹島プロジェクト— 東郷第22号極秘文 書(조은재長編小説 ①)』	ジオ・ブック ス	2005		韓国語著作
424	조은재	『竹島プロジェクト— DMD戰略報告書 (조은재長編小説 ②)』	ジオ・ブック ス	2005		韓国語著作
425	조주환詩集	『独島(東学詩人選 84)』	東学社	2005		韓国語著作
426	주진우(国会農 林海洋水産委 員・漁民被害对 策小委員長)	『準備された失敗！ 韓・日、韓・中漁業 協定(주진우議員漁 業白書)』		1999	4月	韓国語著作
427	池鐵根	『平和線』	汎友社	1979		韓国語著作
428	池鐵根	『韓日漁業紛争史』	韓国水産 新報社	1989		韓国語著作

429	최낙정	『韓・日漁業協定は破棄されねばならない』	세창출판사	2002		韓国語著作	
430	崔南善(高麗大学校亜細亞問題研究所六堂全集編集委員会編)	『鬱陵島と独島』、「韓日関係の歴史的考察」、附:「朝鮮歴史地図」	『韓国史Ⅱ—壇君・古朝鮮其他(六堂崔南善全集2)』	高麗大学校アジア問題研究所	1965	pp.679-704、pp.705-749	韓国語著作
431	崔永嬉	『独島領有権』		知性の現	1997		韓国語著作
432	최장근	『間島領土の運命—日本帝国主義と中国中華主義の狭間で』		白山資料院	2005		韓国語著作
433	최장근	『日本の領土紛争—日本帝国主義の痕跡と日本のナショナリズム—』		白山資料院	2005		韓国語著作
434	青丘企業株式会社編	『独島』		青丘企業株式会社	1962		韓国語著作
435	카지무라히 데키	『なぜ独島は韓国の島なのか』		다함께	2005		韓国語著作
436	편부경	『独島郵便局—独島のために—』		한결	2004		韓国語著作
437	韓国近代史資料研究協議会	『独島研究』		韓国近代史資料研究協議会	1985		韓国語著作
438	韓国放送公社同友会	『独島秘史』		韓国放送公社同友会	1996		韓国語著作
439	韓国放送公社同友会	『独島—独島は我々の地 歴史的考証事例』		韓国放送公社同友会	2000		韓国語著作
440	韓国史学会	『鬱陵島・独島学術調査研究』		韓国史学会	1978		韓国語著作
441	韓国野生花研究所	『独島の野生花』		韓国野生花研究所	1997		韓国語著作

442	韓国自然保存協会	『鬱陵島及び独島総合学術調査報告書』	韓国自然保存協会	1981		韓国語著作
443	韓相復	『東海の鬱陵郡独島研究資料集』	한수당自然環境研	1996		韓国語著作
444	韓相復	『独島は鬱陵島の付属島嶼』	한수당自然環境研	1997		韓国語著作
445	韓相復・全京秀	「⑬鬱陵島・独島」 『韓国落島民俗誌』	集文堂	1990	pp.451-507	韓国語著作
446	韓国精神文化研究院	『民族大百科辞典第3巻独島編』	웅진出版社	1992		韓国語著作
447	韓国精神文化研究院研究部(歴史研究室)	『独島研究』	(報告論叢96-1) 韓国精神文化研究院	1996		韓国語著作
448	韓国精神文化研究院	『独島問題学術会議』	韓国精神文化研究院	1996	4月12日	韓国語著作
449	韓国学中央研究院韓国文化交流センター	『2005 学術大会発表資料集 世界の独島と東海 正しく伝える』	韓国学中央研究院韓国文化交流セン	2005		韓国語著作
450	韓国海洋水産開発院	『韓・日漁業協定と独島に関するセミ』		2002	1月28日	韓国語著作
451	한산/지음·김수만/사진	『独島よ、昨夜はよく眠れたか』	장백	1996		韓国語著作
452	한도훈	『独島よ、昨夜はよく眠れたか1』	갑인메디아	2003		韓国語著作
453	한도훈	『独島よ、昨夜はよく眠れたか2』	갑인메디아	2003		韓国語著作
454	한도훈	『お父さん、独島が知りたいよ(体験)』	무지개터	2005		韓国語著作
455	한도훈	『お父さん、独島が知りたいよ(生態)』	무지개터	2005		韓国語著作
456	한정아지음	『私は独島で生まれました』	마루벌	2004		韓国語著作
457	韓日関係史研究会	『独島と対馬』	知性の泉	1996		韓国語著作

458	韓日関係史研究会学術シンポジウム	『韓・日両国間領土認識の歴史的再検討—独島・対馬写真資料展—』	韓日関係史研究会	1996	3月8日	韓国語著作	
459	韓日関係史学会編	『朝鮮時代韓日漂流民研究』	国学資料院	2001		韓国語著作	
460	현금순童詩集	『独島に郵便ポストが出来たよ』	図書出版 ダイナー	2004		韓国語著作	
461	玄采	『大韓新地誌 下(鬱陵島と独島は江原道の一部とする)』	広学書舗	1907		韓国語著作	
462	홍순철	『この地は誰の地なのか！—独島義勇守備隊홍순철隊長手記』	혜안	1997		韓国語著作	
463	홍윤서	『独島戦争—홍윤서長編小説 1-2』	명상	2000		韓国語著作	
464	황백현	『日本の独島占領シナリオ—対馬は韓国の地』	図書出版 ダソル	2000		韓国語著作	
465	황백현	『対馬は韓国の地、独島は韓国の地』	克日運動 市民連合	2002		韓国語著作	
466	黄相基	『独島領有権解説』	勤労学生 社	1965		韓国語著作	再版、初版は1954年

- | | | | | | |
|-----|--|--|--|------|--------------|
| 467 | 호사카유지 | 『日本の古地図にも
独島はない』 | 자유과모
음 | 2005 | 韓国語著作 |
| 468 | 山辺健太郎・梶
村秀樹・堀和生
著、林英正訳 | 『独島領有権の日本
側主張に反駁する
日本人論文集』 | 影仁文化
社 | 2003 | 韓国語著作 |
| 469 | “East Sea in
Old Western
Maps with
Emphasis on
the 17~18th
Centuries” | | The
Society for
East Asia
(Seoul) | 2004 | その他外国語
著作 |
| 470 | “East Sea in
World Maps” | | The
Society for
East Asia
(Seoul) | 2004 | その他外国語
著作 |
| 471 | Bong、
Youngshik | “Flashpoints at
Sea? :
Legitimization
Strategy and East
Asian Island
Disputes.” | Philadelphia, P. of
The
University
of
Pennsylvan
ia | 2002 | その他外国語
著作 |

- 472 Choon-ho Park 「2. Fishing under Troubled Waters:The Notheast Asia Fisheries Controversy」、 「3. The Sino-Japanese-Korea Sea Resources Controversy and the Hypothesis of a 200-Mile Economic Zone」、 「4. Joint Development of Mineral Resources in Disputed Waters:the Case of Japan and South Korea in the East China Sea」、 「5. South Korea and the Law of the Sea」、 「6. The 50-Mile Military Boundary Zone of North Korea」
 “ EAST ASIA AND THE LAW OF THE SEA”
 Seoul National University Press 1983
 pp.51-100、
 pp.101-123、
 pp.125-138、
 pp.139-160、
 pp.161-174
 その他外国語
 著作
- 473 Choung Il Chee “Korean Perspectives on Ocean Law Issues for the 21st Century”
 Kluwer Law International 1999
 その他外国語
 著作
- 474 Kim、 Young Koo “A PURSUIT OF TRUTH in the Dokdo Island Issue —Letters to a Young Japanese
 BUB YOUNG SA 2003
 その他外国語
 著作 A Multi-Lingual Edition

- 475 Kim, Young
Koo “A Pursuit of Truth
in the Dokdo Island
Issue —Letters to a
Young Japanese
Man—” Internation
al Cultural 2005
Exchange
Association その他外国語
著作 Third Edition
- 476 Kim, Young
Koo “A Pursuit of Truth
in the Dokdo Island
Issue —Letters to a
Young Japanese
Man—” Internation
al Cultural 2005
Exchange
Association その他外国語 Third Edition、(韓国の文化的
著作 治産 独島問題の真実)
- 477 Shin Kim “EAST SEA” Korean
Studies 2001
Information その他外国語
著作
- 478 Shin, Yong-
Ha, translated
by K. Jang with
Teddi Bynam Tokdo
Research 1997
Association その他外国語
著作